

伊藤大使の滋賀県出張

6月26日及び27日、伊藤大使は滋賀県を訪問し、江島宏治滋賀県副知事と会談し、湖を通じたアムハラ州と滋賀県の今後の協力関係について話し合いました。アムハラ州はエチオピアで最も大きい湖であるタナ湖を有しており、滋賀県は日本で最も大きい湖である琵琶湖を有しています。地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）EARTH プロジェクトの実施によって、両都市間では共通項である湖を通じた人材交流が始まっています。

また、伊藤大使は SATREPS-EARTH プロジェクトの研究を行う琵琶湖環境科学研究センター及び滋賀県立大学を訪問し、津野洋琵琶湖環境科学研究センター長及び井手慎司滋賀県立大学理事長・学長と会談し、琵琶湖の湖沼管理、現在のプロジェクトの進捗及び今後のエチオピアとの人材交流について、意見交換を行いました。



江島滋賀県副知事と面談



津野琵琶湖環境科学研究センター長と面談



井手滋賀県立大学理事長・学長と面談



滋賀県立大学で SATREPS の研究に参加している
研究者の方々と